

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		後期高齢者医療一般事務		款	1	項	1	目	1	事業	1	整理番号	647	
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	644			
上位施策No・施策名		104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			75歳以上及び65歳以上74歳以下で政令で定める障害のため認定を受けた高齢者		根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律・同施行令・同規則 (2) 杉並区高齢者の医療に関する条例・同規則						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえて、高齢者にふさわしい医療が受けられるよう制度の維持に努める。			活動指標名(式)		(1) 後期高齢者医療被保険者数 (2) 後期高齢者医療保険料賦課決定・納入通知書発送件数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○東京都後期高齢者医療広域連合との役割分担により、区は保険証の引渡し、加入や資格喪失届出、各種申請の受付及び保険料の徴収を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 保険料収納率(5月31日現在の数値) 算定式・指標の説明等 保険料収納額/保険料調定額 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	①	人	50,560	52,100	51,966	52,540	53,441	54,000	101.7				
	活動指標(2)	②	件	74,146	60,000	59,781	68,600	63,841	69,500	93.1				
	成果指標(1)	③	%	97.25	98.00	98.38	98.00	98.48	98.00	100.5				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	37,863	75,882	56,725	98,390	82,653	71,025	22年度予算執行率% 84.0				
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内) 委託費	⑦	千円	32,587	64,776	52,950	92,391	78,221	65,769					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	11.40   1.00	9.20   1.00	11.00   1.00	11.50   0.50	12.00   0.50	13.50   0.50					
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	103,170	81,687	97,669	102,580	107,040					120,420
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	2,800	2,793	2,793	1,475	1,475					1,475
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	143,833	160,362	157,187	202,445	191,168	192,920					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,845	3,078	3,025	3,853	3,577	3,573					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	18,891	0	0					0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	7,924	0	6,013	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	7,924	0	24,904	0	0	0					
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	135,909	160,362	132,283	202,445	191,168	192,920					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 647

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2) 事業実績	保険料の通知や保険証の発送を行いました。また、杉並区独自で、保険料についてのお知らせや制度についてわかりやすく説明したガイドブックを発行し、加入者全員に送付しました。		
		保険料当初通知封入封緘委託	1	件	3,963
		年齢到達者被保険者証発送	4,710	人	1,725
		督促状等発送	14,399	人	912
		パンフレット作成・発送	53,824	人	5,262
		その他 ( 口座開始お知らせ通知等 )			70,791

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	制度の周知不足もあり、被保険者ばかりでなく、現場の混乱をも招きました。次々に新たな制度変更があり、事務処理に追われましたが、3年が経過し、制度が定着してきました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	制度が分かりにくいとの意見があります。国民健康保険料に比べ、保険料が高いと言われます。
	今後の予測	国は、新たな制度のあり方について検討し、平成22年12月に検討会議の最終とりまとめが示されましたが、現在のところ決定はしていません。今後も国の動向を注視していきます。
	評価と課題	後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費の大幅な増加や少子化に対応し、国民皆保健を維持するために検討を重ねた結果始まった制度ですが、真の目的が国民に十分に伝わっていない面もあります。3年が経過し、制度も定着してきた感もありますが、新たな制度への変更も検討されていますので、状況を見据えながら周知及び事業執行を行っていくことが課題です。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	制度の内容変更が続いたため、高齢者にとって非常に複雑かつ分かりにくいものとなっています。わかりやすい文章での案内や、DMを使用したPR、問い合わせがあった際の丁寧な説明を行いました。今後も継続して行っていきます。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 648

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		葬祭費の支給	2,284	件	159,880
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	後期高齢者の葬祭執行者からの請求に基づき葬祭費を支給しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成20年度の後期高齢者医療制度開始時から区の予算で葬祭費を支給してきましたが、平成22年度からは支給額7万円のうち5万円を後期高齢者医療広域連合からの交付金、区から2万円を付加給付し支給しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	国民健康保険の葬祭費と同額なので、喜ばれています。
	今後の予測	被保険者数の増加に伴い、葬祭費の申請件数も増加していくものと考えます。
	評価と課題	葬祭費の支給は本来保険給付で行うべきものですが、21年度までは全額を区で補助していました。22年度からは5万円は東京都後期高齢者医療広域連合の保険給付、2万円については区の付加給付となりました。ただし、広域連合からの給付金の財源が被保険者の保険料ではなく、区の負担金からとなりましたので、結果的に区の支出はほとんど変わっていません。今後も他区市町村及び広域連合等との協議を行っていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
		平成22年度から給付金の一部が広域連合の保険給付となったので、当分の間変更される予定はありません。区の負担を減らすためには負担金に見合う金額を被保険者の保険料に反映させる必要が生じます。				

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 649

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			東京都後期高齢者医療広域連合への分賦金の支出	20	件
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	保険料等負担金、療養給付費負担金、保健基盤安定負担金、保険料軽減措置負担金、事務費負担金を支払いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成19年度の準備段階から、事務費等を負担しています。20年度から療養給付費負担金、保険料負担金も支払っているため、金額が大幅に増えています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民からの意見はありません
	今後の予測	平成22年度は保険料改定の年ですので、保険料負担金が増となったほか、新たに葬祭費負担金の支出も増えました。今後も被保険者数の増加が見込まれますので、事業費増が予測されます。

評価と課題	東京都後期高齢者医療後期連合は、区との役割分担により、給付や被保険者証印刷・封入の事務等を担っており、区が負担金を支払い、連合を維持運営していくことは非常に重要なことです。しかし、新たな給付制度等も加わり、後期高齢者医療制度を維持するために区の負担金は増加しています。後期高齢者医療制度は国により見直しを検討されていますが、区としての意見を述べていくことも必要です。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
事業の性質上、現在のところ改善の余地はありません。			

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 650

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				医療衛生委託	1
		事務処理委託	1	件	31,830
		その他 ( 郵送料 )			4,297
	(2) 事業実績	健康推進課に予算を令達し、事務を執行しました。健診項目は生活習慣病の早期発見に着目した特定健診の必須項目を基本に設定しており、区の追加項目もあるため、充実した内容となっています。平成21までは、成人等健診・特定健診・後期高齢者健診は同一の受診案内を使用していましたが、平成22年度からは後期高齢者用に独自の案内を作成し配付しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	後期高齢者医療の被保険者の健診は、法では広域連合の努力義務となっています。区は広域連合と委託契約を結んでいますが、事業実施は区で行っているため、充実した健診内容とすることが可能となっています。後期高齢者医療制度は、国において制度の変更が検討されていますので、健診についても変更される可能性があります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	誕生日健診のほうがわかりやすかったとの意見があります。
	今後の予測	健康についての関心が高くなり、受診する区民が増えることが予想されます。
	評価と課題	後期高齢者用の受診案内の作成や、電話依頼による受診券の再発行などを行った結果、平成22年度の実受診率は21年度に比し10%の増となりました。誕生日健診から、年2回の受診券発送へと変更されて2年が経ち落ちてきましたが、今後も引き続き周知する必要があります。また、健診実施機関から3月までに請求がなされなかった場合は、広域連合からの受託収入が得られない等の問題もあります。被保険者が早めに受診できるような対策について検討する必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	平成22年度までは3年間受診記録の無い方には受診券の発送を行っていませんでしたが、23年度からは全員に発送します。これにより、今まで受診していなかった方に受診の機会を提供できるようになります。また、今後も引き続き、被保険者に対し、わかりやすい案内や周知方法について工夫する必要があります。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 651

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		夏季施設借上げ料金の助成	2	施設	2,331
		その他 ( )			0
(2) 事業実績	被保険者が夏季施設を家族と利用し、健康増進に役立てられるよう、借り上げました。国民健康保険事業と共同で実施し、7施設9部屋のうち2施設分を当事業で負担しています。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している ▼	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ) ▼
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] ▼	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続 ▼

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	20年度からの実施です。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設数をもっと増やしてほしいという要望があります。 温泉利用券を国保同様に配布してほしいという要望があります。
	今後の予測	21年度から国保・後期高齢者全体で2施設増やしましたが、これ以上の増は困難です。
評価と課題		夏季施設借上げに対しては、広域連合の健康増進事業補助金を受けられるため、23年度以降も実施し、高齢者の健康増進に寄与していきます。その他の高齢者にふさわしい保健事業についても検討する必要があります。温泉利用券の発行については、一自治体でできることではありませんので、保険者である広域連合が検討中です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性 <input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善 <input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
これ以上の施設借上げは困難ですので、現状を維持していきます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		葬祭費の支給(過年度分)		款	4	項	1	目	2	事業	2	整理番号	652
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	新		
上位施策No・施策名		104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分				新規事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			後期高齢者の葬祭を執行した者		根拠法令等	(1) 杉並区後期高齢者の被保険者の死亡に伴う葬祭費支給要綱(旧) (2)					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○後期高齢者の葬祭執行者に葬祭費を支給		活動指標名(式)	(1) 葬祭費支給件数(過年度分) (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○後期高齢者の葬祭執行者の申請により、葬祭執行者に7万円を限度で葬祭費を支給(旧要綱該当者)		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①					450	280	50	62.2			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				20,930	19,600	3,500	22年度予算執行率%	93.6		
	(内)投資的経費等	⑥	千円				0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円				0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	2,676	2,676	2,676			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	23,606	22,276	6,176				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円				52,458	79,557	123,520				
	財源	受益者負担分	⑬	千円				0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円				0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円				0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円				0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	0	0	23,606	22,276	6,176				
受益者負担比率⑬÷⑪		%				0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 652

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		葬祭費の支給	280	件	19,600
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	後期高齢者のうち、平成22年3月までに死亡した被保険者の葬祭費について、葬祭執行者の申請に基づき7万円を限度に葬祭費を支給しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成20年度の後期高齢者医療制度開始から葬祭費を支給しています。平成22年3月死亡分までは、7万円を限度に区の予算で支給していましたが、平成22年4月以降に死亡した方については、5万円を東京都後期高齢者医療広域連合からの交付金で、2万円を区で付加給付しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	国民健康保険の葬祭費と同額なので、喜ばれています。
	今後の予測	本事業は平成22年3月までに死亡した方の葬祭費ですので、今後は減少していきます。
	評価と課題	平成22年4月以降に死亡した方の葬祭費については、東京都後期高齢者医療広域連合からの交付金と区の付加給付で支給しています。本事業では、平成22年3月までに死亡した被保険者の方の葬祭費について、葬祭執行者の申請に基づき支給していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	本事業は平成22年3月までに死亡した方の葬祭費ですので、今後は減少していきます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保険料の還付		款	5	項	1	目	1	事業	1	整理番号	653
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	649		
上位施策No・施策名		104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	後期高齢者医療制度の被保険者		根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2)			
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○迅速かつ適切に還付処理を行う。		活動指標名(式)		(1) 還付・充当件数 (2) 還付・充当金額					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○過誤納付となった保険料を還付または滞納額に充当します。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①		500	841	1,500	742	1,500			49.5		
	活動指標(2)	②		10,000	15,597	25,000	11,800	25,000			47.2		
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	28,579	15,597	25,001	11,828	25,001	22年度予算執行率%		47.3	
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内) 委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 1.00			
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	17,758	17,758	8,920	8,920	8,920			
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	2,950	2,950	2,950			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	46,337	33,355	36,871	23,698	36,871				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		92,674	39,661	24,581	31,938	24,581				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	46,337	33,355	36,871	23,698	36,871				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 653

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		過誤納保険料の還付・充当	742	件	11,800
		その他 ( 過誤納保険料還付未済時効分の支出 )			28
	(2) 事業実績	過誤納となった保険料を還付または滞納額に充当しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成20年度は、保険料からの歳入還付のみでしたが、21年度からは歳出還付を行っています。平成22度9月からは、還付事務処理を月1回から月2回へと変更しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民の意見は特にありません。
	今後の予測	現在のところ、還付件数に対する増減の要因はありません。
	評価と課題	住民税額の減額変更や世帯資格に変更があり、保険料納付後に保険料額が減額された被保険者には、納めすぎた保険料を還付しています。後期高齢者の場合、被保険者の死亡も多く、遺族による申請については相続人代表者の手続きが必要など還付が難しい場合もありますが、申請勧奨を徹底していきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
平成22度9月からは、還付に関する事務処理を月1回から月2回へと変更し、申請から還付までの期間が短くなりました。			

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		諸収入返納金		款	5	項	1	目	2	事業	1	整理番号	654		
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	新				
上位施策No・施策名		104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分								新規事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		東京都後期高齢者医療広域連合		根拠法令等		(1) (2)							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		〇広域連合の交付金、償還金の出納を適切な状態にする		活動指標名(式)		(1) (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		〇広域連合の交付金等が過納付となった場合に、広域連合へ返還する		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)											
				算定式・指標の説明等											
				成果指標名(2)											
				算定式・指標の説明等											
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①													
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③													
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				13,579	0	0	22年度予算執行率% 0.0					
	(内)投資的経費等	⑥	千円				0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円				0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				0.01	0.00	0.01				0.00	0.01	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	89	89				89		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	13,668	89	89						
	単位あたりコスト	⑫	円												
	財源	受益者負担分	⑬	千円											
		国からの補助金等	⑭	千円											
		都からの補助金等	⑮	千円											
その他の補助金等		⑯	千円												
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	0	0	0	13,668	89	89						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%				0.0	0.0	0.0							

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 654

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		実績なし				
		その他 ( )				0
(2) 事業実績	広域連合と協議の結果、返還は実施しませんでした。					

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題		

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		一般会計繰出金		款	5	項	2	目	1	事業	1	整理番号	655
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	650		
上位施策No・施策名		104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 高齢者の医療の確保に関する法律98条、99条 (2) 東京都後期高齢者医療広域連合規約18条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	前年度の一般会計繰入金及び広域連合負担金の償還金を一般会計へ返還することにより、後期高齢者医療事業に対する一般会計の負担を適正なものにする。			活動指標名(式)		(1) 返還義務額 (2) 返還義務件数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	前年度に一般会計から後期高齢者医療会計へ繰り入れた繰入金の余剰分及び前年度一般会計が負担した広域連合負担金の今年度償還金について一般会計へ返還する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		繰出金		算定式・指標の説明等					
				成果指標名(2)		繰出件数		算定式・指標の説明等					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)	①	千円		319,205	319,204	95,634	140,767	2	147.2			
	活動指標(2)	②	件		1	1	1	1	1	100.0			
	成果指標(1)	③	千円		319,205	319,204	95,634	140,767	2	147.2			
	成果指標(2)	④	件		1	1	1	1	1	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	319,205	319,204	140,767	140,767	2	22年度予算執行率% 100.0			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	89	89	89	89				89
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	319,294	319,293	140,856	140,856	91				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		1,000	1,000	1,473	1,001	45,500				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	0	319,294	319,293	140,856	140,856	91				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 655

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		前年度繰入金余剰分の繰出	1	件	108,422
		広域連合負担金償還金の繰出	1	件	32,345
		その他 ( )	0		
(2) 事業実績	前年度に一般会計から後期高齢者医療会計へ繰り入れた繰入金の余剰分及び前年度一般会計が負担した広域連合負担金の今年度償還金について一般会計へ返還しました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	<input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ"/>	<input type="text" value=""/>	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成21年度から開始した新規事業です。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事業に対する住民の意見は特にありません。
	今後の予測	前年度繰入金の余剰分については毎年度返還を行います。
評価と課題		一般会計の負担を適正なものとするため、事業を適切に行いました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	事業の性質上、改善、見直しの余地はありません。		

特記事項	
------	--

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		予備費充当		款	6	項	1	目	1	事業	1	整理番号	656		
担当部課名		政策経営部財政課		係名		連絡先電話番号		昨年度整理番号		651					
上位施策No・施策名										104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		後期高齢者医療事業会計		根拠法令等		(1) 地方自治法第217条 (2) 杉並区予算事務規則第22条						
	事業の目的・目標		(対象をどのような状態にしたいのか)		○地方自治法第217条の規定に基づき、予算外の支出または予算超過の支出に備える。		活動指標名(式)		(1) (2)						
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)		○予算外の支出に対する予備費の充当 ○予算超過の支出に対する予備費の充当 ○予備費充当は、実際に執行する予算事業科目に所要額をつけかえて行うため、本事業での決算額は常に0円である。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
						成果指標名(1)									
						算定式・指標の説明等									
						成果指標名(2)									
						算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績				
指標	活動指標(1)		①												
	活動指標(2)		②												
	成果指標(1)		③												
	成果指標(2)		④												
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	0	78,340	0	15,976	0	100,000	22年度予算執行率% 0.0				
	(内) 投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 葬祭費の支給に18,480千円の予備費充当を行いました。 なお、22年度の計画額は、予備費充当後の予算額となっています。				
	(内) 委託費		⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00					
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	0	89	0	89	0			89		
		(内) 非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	0	78,429	0	16,065	0	100,089					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円											
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0			0		
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0			0		
		都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0			0		
		その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0			0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	78,429	0	16,065	0	100,089						
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%		0.0		0.0		0.0						

